

おおだて 市議会だより

118号

平成27年11月1日



渋谷区議会議長 木村正義 様 あいさつ



本場大館
きりたんぼまつり
(平成27年10月10日～12日)

平成27年 **9月定例会** (会期：8月25日～9月29日)

- 主な議案等の審議結果 (9月定例会) P.2
- 一般質問 P.4
- 平成26年度政務活動費の使い道 議会報告会のお知らせ ... P.9
- 私もひ・と・こ・と P.10

主な議案等の審議結果

9月定例会（会期：8月25日～9月29日）

内訳：専決処分の承認2件、条例案4件、単行案6件、予算案13件、人事案3件、報告2件、決算の認定21件、議案乙3件（決算特別委員会の設置2件、会議規則の一部改正1件）、選挙管理委員会委員の選挙1件、請願7件、陳情4件、継続審査中の請願2件

計68件

主 案 件 ・ 内 容	結 果
○ 専決処分の承認について 緊急のため市長が議会を招集する時間的な余裕がない場合には、地方自治法の規定に基づき、専決処分により予算の補正が行われることがあります。これらの補正予算には、事後に議会の承認が求められます。 ● 一般会計補正予算（第2号） 法人市民税の還付金 6,200万円 ● 一般会計補正予算（第3号） 二井田財産区議会議員の補欠選挙費 195万6,000円	承認
○ 個人情報保護条例の一部を改正する条例案 番号法（マイナンバー法）の施行に伴い、マイナンバーを含む個人情報の取り扱いについて定めるものです。	原案可決
○ 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例案 番号法（マイナンバー法）の施行に伴い、マイナンバーの利用範囲について定めるものです。	賛成多数により 原案可決 (賛成 26 反対 1)
○ 手数料条例の一部を改正する条例案 番号法（マイナンバー法）の施行に伴い、個人番号カード等の交付手数料について定めるものです。	原案可決
○ 平成27年度大館市一般会計補正予算（第4号）案 ● ふるさと応援寄附推進事業費の追加 6,742万4,000円 ● 個人番号カード交付事業費 2,828万6,000円 ● 田代いきいきふれあいセンター施設改修費 101万4,000円 ● 特別養護老人ホームつくし苑施設改修費 666万6,000円 ● 除雪費及び除雪関連経費 4億4,732万5,000円 ● 歴史まちづくり事業費 123万7,000円 ● 中央図書館分館整備事業費 3,749万4,000円 ● 二ツ山総合運動公園整備事業費の追加 424万7,000円 以上を含め、補正総額 13億2,736万3,000円	原案可決
○ 副市長の選任について 名 村 伸 一 氏（字水門前）	同意

決算の認定

平成26年度一般・特別会計決算

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
一般会計歳入歳出決算	起立採決により 認 定 (認 定 26) (不認定 1)
国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス事業、戸別浄化槽整備事業など 16件の特別会計歳入歳出決算	認 定

平成26年度企業会計決算

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
水道事業会計、工業用水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計	認 定

請願と陳情

6月定例会に提出されたもの

請 願	○ 比内町扇田字新長岡地区の市道認定について ○ 観音堂及び周辺の公園整備について ○ 市道上代野釈迦内線の側溝改修について	採 択
	○ 黒沢集落の崩落した橋の復旧について	継続審査
陳 情	○ 安全保障関連法案の廃案を求めることについて（3件）	起立採決により 不 採 択 (不採択 19) (採 択 8)
	○ 歯科衛生士を市の正職員として雇用することについて ○ 所得税法第 56 条の廃止を求めることについて	継続審査
	○ マイナンバー制度の運用開始延期と法律改正案の凍結を求めることについて	起立採決により 不 採 択 (不採択 24) (採 択 3)
	○ 安全保障関連法案の廃案を求めることについて	起立採決により 不 採 択 (不採択 19) (採 択 8)

継続審査となっていたもの

請 願	○ セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について	継続審査
	○ 戦争につながる国際平和支援法案・平和安全法制整備法案の廃案を求めることについて	起立採決により 不 採 択 (不採択 19) (採 択 8)

おばた
新一 議員(公明党)



旧正札竹村本館棟について

〈問〉 解体するより耐震補強したほうが予算を抑えられるのではないかと。建物を残した場合の利活用はどうするのか。

〈市長〉 解体費を下回る費用で利活用できる可能性がある。

大町通りは、旧正札竹村周辺がにぎわいの拠点となる可能性を秘めている。精査、検討の時間をいただきたい。

ごみの削減・リサイクルの推進について

〈問〉 ごみの分別が理解しやすいうようにスマホアプリを導入してはどうか。

〈市長〉 ごみの品目ごとにホームページ上で50音検索が可能など、ツールの整備を進めているところであり、完成後、スマートフォンでも御利用いただきたい。

〈問〉 高齢者にわかりやすいごみの分別の説明が必要では。

〈市長〉 ごみの分別表を来年

度全面的に改定し、子供から高齢者までわかりやすいものとなるよう努める。

空き公共施設の活用について

〈問〉 ベニヤマ荘の温泉プールをドジョウの養殖実験に利用できないか。

〈市長〉 空き公共施設の利活用が課題となる中、休止している室内プールをドジョウ養殖の実証実験施設として利用することは、有効な活用策であると考えている。

保育教諭不足の対応について

〈問〉 新卒の保育士の採用に大館市も協力できないか。

〈市長〉 市内の保育士を対象に市主催の各種研修会を実施しているの周知をする。住宅手当の一部補助については、雇用の現状と期待される効果を調査した上で妥当性を含め検討する。

配慮を要する児童の受け入れについて

〈問〉 私立認定こども園から要請があったとき、補助員派遣等の制度を設けられないか。

〈市長〉 障害児サポーターが不足しているの、現場の保育士に巡回指導員や臨床心理士が現場訪問し、保育士の資質向上

を図っている。

すこやか子育て支援事業について

〈問〉 多子家庭の保育料の割引給付をさらに充実できないか。

〈市長〉 幼稚園認定の園児と保育園認定の園児の取り扱いが異なることから、保護者から不公平感があるとの意見が寄せられている。独自のすこやか子育て支援事業の一つとして、同一基準で取り扱うことが可能か財政面などから検討する。

あべ
ふみお
阿部 文男 議員(平成会)



大館駅前開発について

〈問〉 大館の顔であり、玄関口である大館駅前は、駅舎及び周辺を含む総合的な視野で開発を進めるべきだと思うが。

〈市長〉 JR東日本秋田支社長に大館駅舎の改築と駅前整備についての考え方を伝え、一定の理解が得られた。今後「あきた未来づくりプログラム」のプ

ロジェクトチームを県と協働で立ち上げる予定であり、関係団体等と協議を進めてまいりたい。

〈問〉 昭和のにおいがする旧小坂鉄道・旧花岡鉄道の駅舎を復元し、観光交流拠点施設をつくるべきだと思うが。

〈市長〉 大館駅周辺の整備を進める中で、地域や関係機関等と協議、検討してまいりたい。

大館市庁舎建設について

〈問〉 50年、100年後を見据えた大館のまちづくりについては長期的な将来ビジョンの上に立ち、市民の声を十分に聞きながら考えるべきだと思うが。

〈市長〉 パブリックコメントなどを経て、多くの意見集約と議論を重ね、基本構想の策定に至っている。今後、基本計画策定などに当たってもパブリックコメントを実施するなど、より多くの市民の皆様の御意見を伺ってまいりたい。

〈問〉 合併特例債が庁舎建設の足かせになっているように思う。合併特例債の発行期限を延長させる運動ができないものか。

〈市長〉 現在の法定期限までの建設を目指すものだが、国の動向等を見ながら、市長会等を通じて要望してまいりたい。

桂城公園について

〈問〉 広い城址公園にし、歴

史まちづくり法の認可に絡ませて堀の復活や城址の雰囲気を感じる存分出すべき。

〈市長〉 市では、歴史的風致維持向上計画の策定に全力で取り組んでおり、桂城公園は城址公園として歴史と文化を発信し、観光の拠点となるよう総合的に整備をしていく計画である。

〈問〉 桂城公園に松下村塾を移築し、茶道や華道、また、子供を対象にした体験・習得の場として利用してはどうか。

〈市長〉 良案の一つと受けとめているが、中央図書館は栗盛教育団のあった場所に建てられており教育・文化の中核的な位置でもあるため、その隣接地への移築について御理解賜りたい。

市政に市民の声を

〈問〉 市政に志を持っている市民はたくさんいる。積極的に検討委員会等に組み入れ、市民の声が届くような仕組みをつくってほしい。

〈市長〉 かねてから、大館の未来をつくるのは志のある民、「志民」と考えており、今後も幅広く御意見を伺っていくとともに、附属機関等の委員選考に当たっては、高い見識と専門性を有する方などに加え、公募により委員を募り、市政に反映させてまいりたい。



ささじま あいこ
笹島 愛子 議員 (泉蔭)

「子どもの医療費 助成制度」について

〔問〕 全国知事会が国に対し「子どもの医療費助成制度」の創設を求めた。市長も積極的に実現方を国に求めること。この知事会の要請行動をどう受け取めたのか。

〔市長〕 全国知事会の提言は少子化対策の抜本強化の一つであり、国の責任において全ての子供の医療費負担の軽減と、制度創設までの間、国保の国庫負担削減措置の廃止を求めたものであり、少子化対策のための国の制度として医療費助成を実施すべきと考えている。

〔問〕 国が実施するまでは、市として中学校卒業まで無料化を実施すること。

〔市長〕 現在、県で策定している創生総合戦略の中で、医療費助成の中学校までの延長が取り上げられている。市としても市の総合戦略に盛り込むべき施策として協議していく。

放課後児童クラブは、 教育の一環として 無料で実施すること

〔問〕 現在放課後児童クラブを利用すると、1人目は3,000円、2人目からは1,500円となっている。教育費のほかに、さらにこの分が重なって大変であり、再考すべき。

〔市長〕 現在、本市では17の放課後児童クラブを設置している。利用料の無料化については、子育て世代の負担軽減策として有効であるが、財源確保などの課題もあり、限られた財源を有効活用しながら子育て支援に努める。

〔市長〕 現在、本市では17の放課後児童クラブを設置している。利用料の無料化については、子育て世代の負担軽減策として有効であるが、財源確保などの課題もあり、限られた財源を有効活用しながら子育て支援に努める。

路線バス未運行地域の 解消見通しを 明らかにする

〔問〕 これまで、強い要望が出されている芦田子の賽ノ神地域の方々はしびれを切らし、首を長くしながら結果を待っている。1日も早く要望に応えるべき。

〔市長〕 現在、路線バス空白地域解消を図るための対応策を地域の皆さんやバス事業者と協議しているところであり、デマンドタクシーや定期タクシーも含め打開策を検討したが実現に至っていない。座談会やアン

ケートでは路線バスの延伸や存続を求める声が多く、今後、実証運行も視野に入れながら実現できるよう努める。

ケートでは路線バスの延伸や存続を求める声が多く、今後、実証運行も視野に入れながら実現できるよう努める。

とがし たかし
富樫 孝 議員 (新生クラブ)



交流人口の拡大について

〔問〕 どのように交流人口をふやすのか。移住人口の増にも結びつけることについて市長の考えは。

〔市長〕 あらゆる政策の根本と位置づけ、大館の魅力の向上を図るため従来から取り組んできた事業に加え、あきた未来づくり交付金を活用した交流拠点づくりとして、同和グループから譲られた土地を利用した県北地区の玄関口としての整備、また、歴史的風致維持向上計画の策定に向けて、さまざまな準備を重ねている。あわせて交流人口拡大に向けて観光基本計画

の見直しにも着手している。2020年の東京オリンピックに向けて各自自治体の外国人誘客の取り組み強化が予想されるので知恵を絞りたい。移住対策については今年度から定住奨励金や地域おこし協力隊制度を活用した2人の移住プロデューサーを採用した。移住対策と交流人口の拡大に向けた取り組みを複合し実施していく。

観光物産館について

〔問〕 観光物産館は必要だと思ふ。交流人口もふえるのでは。

〔市長〕 観光物産館は必要だと思う。本市の交流人口の拡大を図る上で、大館駅周辺が適当と考える。同和グループから譲り受けた旧小坂鉄道大館駅跡地に交流拠点施設として整備したい。名物や特産品きりたんぽなどをいつでも買い求め、食べてもらうなどの観光物産機能をJR大館駅舎の2カ所分担任する。今後は市観光協会を含めた3者で検討する。議会には経過を報告・相談したい。

選挙年齢の引き下げについて

〔問〕 ふるさとキャリア教育における取り組みについて教育長の見解は。

〔教育長〕 去る6月17日に公職選挙法が改正され、選挙権付与年齢が18歳に引き下げられた。

来夏の参議院選も控えているので、主権者教育の充実が全国的に提唱されている。これまでも実践的な学習を重ねており、児童会や生徒会活動の役員選挙等を通して疑似体験を以前から行っている。必要な知識や理解に関しては、ほぼ不足はない状況である。しかし、若者の投票率が極めて低いというのが実態であることから、問題の本質は政治的知識・理解不足ではなく、政治参加意識の低さであると考え。従前の教育で市民意識や社会的責任感・使命感等を育成しきれなかった結果、若者の政治離れが進行したと思う。大館ではふるさとキャリア教育を根幹とした教育を展開し「未来大館市民」を育成するために頑張っている。学力もハイレベルであり、ふるさとキャリア教育の成果だと受けとめている。



佐々木 公三
議員 (いづみ)



先人顕彰について

〔問〕 「大館の人・辞典」には各界・各分野で活躍したすぐれた大館人が収録。先人顕彰館を整備したらどうか。その方法として空き公共施設や空き家を有効活用し、その足跡と精神を学べる環境づくりを検討しては。

〔教育長〕 博物館内の先人顕彰コーナー設置とあわせて、ホームページでも紹介しており、さらに充実させた。老朽化や収蔵場所不足等、課題山積の博物館を将来的にどうするかも含めて総合的に考えたい。

松下村塾移築について

〔問〕 松下村塾の移築計画は歴史的風致維持向上計画に逆行しないか。移築計画は市税の無駄遣いではないか。松下村塾の位置づけは観光施設か、または学習施設なのか。松下村塾の大看板はないし、紹介パンフレッ

トがないのはなぜか。大館松下村塾が9月開講とのことだが、費用助成の考えは。

〔教育長〕 具体的なまちづくりに取り組む際には有効な町並みとなるよう検討したい。少なくとも逆行するものではない。松下村塾の位置づけは広い意味での教育・文化施設と考えている。竹村氏の遺志を引き継いだ形で大館と松陰の歴史的接点を顕彰するとともに、大館の未来に資する松下村塾にしたい。パンフレットは今年度中に作成予定、看板は移築にあわせて整備。大館松下村塾は市民による自発的・主体的活動であり、今のところ費用助成は考えていない。

忠犬八千公の 関係都市との交流は

〔問〕 ハチ公に関連する都市間交流の考えは（国際交流も含め、職員交流など）。

〔市長〕 渋谷区との交流を中心に、まずは国内の自治体の各団体の相互交流、首長や職員交流を中心に進めたい。

大館の魅力発信のための 観光策は

〔問〕 タイ・台湾を訪問し、観光面で何を学んだか。また、特に整備すべきことは何か。

〔市長〕 秋田犬が世界に誇る素材であること、日本に対する

観光面での関心の高さを強く実感した。県内各自治体と広域的な連携を図り、県全体の発展のため市が果たすべき役割を見きわめ、誘客効果を高める取り組みを進めたい。観光施設のWiFi施設整備や外国人観光客対応の多言語表示も必要。

電気柵について

〔問〕 本市における電気柵の実態と安全対策は。

〔市長〕 本市の設置状況は、3業種16件。関係機関と連携し、安全に対する指導をする。

佐藤 芳忠 議員（無所属）



「25年9月提案の渋谷ハチ公像 里帰り」の進捗状況について

〔問〕 私が渋谷ハチ公像の里帰りを提案したのは、ハチ公像が一時的に移設されることを知ったからです。ハチ公像を当

市に移設させることができれば、マスコミの大報道で、長期間にわたり大々的に当市をPRでき、観光客もふえるなど、はかり知れない効果をもたらします。市は実現に向け取り組みを進める方針を示しましたが、その後の進捗状況について伺います。

〔市長〕 佐藤議員の御提案から2年がたちますが、その間、渋谷区やJR渋谷駅、東急等へ実現に向けた働きかけを行ってまいりました。私も市長に就任して以来、4月には渋谷区長、6月にはJR渋谷駅長に会い、ハチ公像里帰りの構想を伝え、御協力をお願いしたところで、今後は働きかけを強化するとともに、受け入れ体制についても検討したいと考えております。

人事評価制度の弊害と 市役所の活性化について

〔問〕 人事評価制度が導入されれば組合員が大きな不利益をこうむることがわかっていながら、当市の組合は市当局の言いなりに21年度から試行導入・先取導入しました。私は21年度に課の職員に「23年度から本格実施されれば正しいことを正しいと言えない時代が来てしまう。上司に逆らえない職場環境になつてしまう」と言いました。が、たった4年でそうなつてしまいました。人事評価制度の問

題点は主観・個人的感情が入つてしまうことです。職員課が作成した人事評価制度の手引きでも、能力項目については評価する人の主観が入った恣意的な評価になりやすいと書かれているように、評価に主観が入ることです。また、市職員も消防署員も市病の看護師も皆、同じ内容で評価していますが、全く仕事が違う職員を同じ内容で評価するのは、適正な評価とは言えないものです。それぞれの職務により評価項目を変えるべきです。そして人事評価の結果が配置管理へ全く活用されていない職場や正しい処遇管理がなされていないのではないかと考えざるを得ないような職員も多くなります。以上のように、今の人事評価制度は多くの弊害をもたらしています。市職員を委縮から解放し市役所を活性化するためには、この制度を改善しなくてはならないと考えます。

〔市長〕 佐藤議員御指摘のとおり、改善しなければならぬ点は多々あります。私は大館市役所の最大の財産は市職員だと考えておりますので、この人事評価制度を一つの形におさめることはしません。常に改善をしていくという形で取り組んでいきたいと思っております。



そうま
相馬エミ子 議員(新当選)

市長の政治姿勢について

〈問〉 このたび、台湾やタイ王国を訪問しトップセールスをされてきたが、どの程度の成果があったのか。

〔市長〕 タイ王国ではニプロタイ工場の訪問、台湾では航空会社へチャーター便誘致の働きかけのほか、観光プレゼンテーションを行い、大館をPRしてきた。また、11月に行われる市民の翼ツアーにおいて、台北市日本工商会ツアー参加者との懇談の場を設ける。これは今後の経済交流の足がかりになるものと期待している。

〈問〉 歴史まちづくり法は実効性があるのか。財政面を考えると厳しいと思うが。

〔市長〕 市全域の歴史・文化・伝統や人々の営み・暮らしに光を当て、次世代へ受け継ぐ歴史的風致の選定作業を進めており、計画認定後に得られる国の支援は国指定の重要文化財を

含む重点区域内に限定される。現在、重点区域の設定や整備構想を検討中だが、国の事業採択の可能性や具体的な内容を精査し、事業計画を立て、全体の事業費や整備期間を検討していきたい。

花岡の平和事業を観光に

〈問〉 花岡事件発生から70年。歴史の教訓として語り継ぐことが日中両国の友好と世界恒久平和の礎になる。花岡記念館や鳥湯会館などを含め、平和事業を観光に生かせないか。

〔市長〕 平和の大切さと世界の恒久平和を発信する拠点施設として、花岡平和記念館を周知していきたい。

子供の貧困の実態について

〈問〉 当市の子供の貧困の実態と給食費や保育料の未納に対する措置と支援は。

〔市長〕 昨年8月に国が公表したひとり親世帯などの貧困率は54・6%。市では自立支援教育訓練給付金事業などを通じ支援している。給食費は24年度から3年間未納はなく、就学援助費の効果によるものと考えており、その支給は743人。保育料は26度末で77人の未納者があり、分割納付等の相談に応じている。さらに、就労していない親に対する就労支援等さまざまな支援策を講じていきたい。

安全保障関連法案を廃案に

〈問〉 政府・与党は自衛隊の活動範囲を大幅に広げる安保法案を強行採決で可決するという暴挙に出た。戦後70年、日本が貫いた平和国家を180度転換させようとしている。国民が納得していない中、一度廃案にし、慎重審議を求めることについて市長の考えは。

〔市長〕 国中で議論がなされている中、さらに時間をかけ、より慎重な対応が必要だと考えている。

さとう
佐藤 健一 議員(いぶき)



歴史まちづくりと中心市街地の活性化について

〈問〉 双方に融合性はあるか。〔市長〕 現在、歴史まちづくり法の適用に向けて取り組んでいるが、中心市街地の活性化についても引き続き取り組んでいきたい。良好な景観形成とは、地域の歴史・文化・伝統・産業・自然環境を生かすことであり、ひいては地域の魅力や特徴づくり、良好な住環境形成につながる。そして、地域の魅力の向上や特徴づくりで観光の振興や交流が促進され、町が活性化

する。田代地域でも、今後市民の声を聞きながら田代岳や羽州街道など、全域の歴史的風致を調査・研究してまいりたい。また、早口踏切の歩行者安全対策など、地域の課題は今後も国・県の支援を活用し、事業化を推進してまいりたい。

大館市の農業について

〈問〉 15年産米の大館市の生産調整状況は。

〔市長〕 主食用米作付面積は3,328ヘクタールとなり、生産数量目標面積の3,794ヘクタール、自主的取り組み参加者の3,733ヘクタールのいずれをも達成の見込みである。その要因は、飼料用米の作付面積が昨年の3・9倍、約630ヘクタールに拡大し、国の戦略作物の大豆は35ヘクタール、市の重点戦略作物の枝豆は15ヘクタール増加しているからである。〔問〕 農地中間管理機構を通じた借り受け、貸し手の状況は。

〔市長〕 8月27日現在、貸し付け希望者171戸から152・5ヘクタールの申し込み、借り受け希望者53経営体、491・5ヘクタールとなっている。市では基盤整備中の上川沿地区と芦田子地区を農地集積のモデル地区とするなど、貸し付け希望者の掘り起こしを行っており、今後は、枝豆等の重点戦略作物の生産拡大と飼料用米等の作付支援を推進してまいりたい。

スポーツ施設の整備・補修について

〈問〉 平成29年に公認審査が行われる長根山陸上競技場の整備計画は。

〔市長〕 本年10月の日本陸上連盟による事前現地指導を含めた中間検査に向けて準備を進めており、その検査結果と指導を踏まえて、第2種公認の継続に向けて計画的に整備を進めてまいりたい。

〈問〉 グリアス田代のトイレの洋式化は。

〔市長〕 各小・中学校の洋式化は今年度で完了の見込みである。今後、市全体の社会体育施設に優先順位をつけながら洋式化を進めてまいりたい。また、グリアス田代は優先度が高いと考えている。

たむら
のりみつ
田村 儀光 議員(平成会)



総合計画及び 総合戦略策定について

〈問〉 日本版CCRCへの取り組みを計画に盛り込むべきと思うが市長の考えは。

〔市長〕 CCRCとは「高齢者が健康で元気に輝き暮らし続けることのできるコミュニティ」と定義され、御指摘のとおり地方創生で日本版CCRCを検討することになった。背景には都市部の高齢化と地方活性化の同時解決がある。現在、本県では秋田銀行が事務局となり、秋田版CCRCとして「秋田プラチナタウン」を研究しており、CCRCの先駆けとして秋田県の活性化を目標に活動している。本市で現在策定中の総合計画・総合戦略の中に「生涯活躍のまち(大館版CCRC)」構想を必ず盛り込みたい。交流人口拡大のため、

田代地域にモトクロス競技場をつくり、大会を誘致する考えは。

〔市長〕 先般、モトクロス競技をしている田代中学校の2年生の生徒さんにお会いした。バイクに「東北魂」のロゴを張りつけ、震災復興のために自分も頑張るという決意を聞き、強く心を打たれた。議員御提言の山瀬ダムの上流部は条件にかなうのではないかと思う。近隣の類似施設との兼ね合い、費用対効果などを検証し、検討していきたい。

ケーブルテレビの 活用について

〈問〉 ケーブルテレビを市内全域に配信し、行政から市民への周知事項やイベントのPR、災害情報の伝達等に有効活用できるよう検討すべきと思うが、市長の考えは。

〔市長〕 大館ケーブルテレビは、現在約6,100世帯が加入している。将来的な整備エリアの拡大等を見据え、費用対効果も踏まえながら検討していきたい。

都市計画税について

〈問〉 目的どおりに使われているのか。対象地域の多くの市民から不満の声が上がっている。

また、県内で都市計画税を徴収しているのは本市と由利本荘市だけである。廃止や見直しを考えるべきではないか。

〔市長〕 都市計画事業における費用負担の方法を検討していく中で、本税の廃止を含めた税体系の見直し方法や時期について、議会や有識者の方々の御意見を伺う検討委員会を設けたいと考えている。

ひかげ
けんご
日景 賢悟 議員(平成会)



大館市から出ていくお金を減らすための産業の育成と「バイオマスタウン構想」の徹底で、食料・エネルギー地域循環特区を目指しては

〈問〉 大館市に入のお金より出ていくお金が多ければ町の発展はない。出ていくお金の項目

を精査し「地域からお金を出さない」という視点をもって六次産業やエネルギー産業を育成すべきではないか。環境循環型社会を構築することで、近い将来に「食料・エネルギー特区」を申請してはどうか。

〔市長〕 農業の担い手が新たな農業を展開していけるような取り組みや農業の六次産業化を強力に推進する。また、再生可能エネルギーとしての太陽光や木質バイオマス、小水力発電事業を推進し環境・新エネルギー産業を基幹産業として成長させたい。今後も里山エネルギーや農業・工業などのコラボレーションによる新事業の創出までを見込んだ再生可能エネルギーの導入を進め、必要に応じ国が提唱する「バイオマス産業都市」への申請や、議員御指摘の「食料・エネルギー地域循環型特区」への申請も視野に入れ、「新エネルギー先端都市」を目指してまいりたい。

ふるさと納税の使途を寄附者の心に響く明確な目的に変え、市民の目に見える効果を出すべきでは

〈問〉 大館市に寄附されたふるさと納税の使途が多岐にわたり、不明確である。寄附者の心

に響くわかりやすい使途を明確に示し、目に見える効果を出すべきではないか。例えば、大館市が抱える最重要課題の一つである少子化問題や教育事業に特化し、子育て世代の金銭的負担軽減や「子供を産み、育てやすいまち」としてのイメージアップを図り、その結果と効果を発信できれば、さらなる応援者をふやせるのではないか。

〔市長〕 本市ではふるさと納税の使途を5項目で設定し、その中から選択していただいている。議員御指摘の使途がわかりづらい点については、説明責任を果たす上でも重要な視点である。可能な限り具体的な活用事業の実施状況も含め、情報提供するよう検討していく。また、使途を特化する提案については、寄附に託された思いが多岐にわたることから、議論の余地がある。成果を広く伝えることは寄附者をふやし、市民に制度の有効性をアピールする上で重要であると考え。今後は、WEBサイトでのクラウドファンディングや創設が見込まれる「企業版ふるさと納税」制度を見据え、方策を広く検討する。



せい む かつ どう ひ つか みち
平成26年度 政務活動費の使い道

○政務活動費とは

大館市議会では、地方自治法に基づき、大館市議会議員政務活動費の交付に関する条例が定められており、議員1人あたり月1万5,000円が交付されています。これは議員報酬ではなく、市議会議員の調査研究のために必要な経費の一部として交付されるものです。なお、残余金があった場合は返還することになっています。

平成26年度 政務活動費収支報告（平成26年4月～平成27年3月）

（単位：円）

議員氏名	収 入	支 出						支 出 合 計 (※)	市への 返還額
		調 査 研究費	資料費	広 報 広聴費	要請・陳情 活動費	人件費	その他 経 費		
小棚木 政 之	180,000	104,121	69,230				9,520	182,871	0
武 田 晋	180,000	76,620	31,800	40,070				148,490	31,510
佐 藤 照 雄	180,000	76,620	17,130	95,620				189,370	0
小 畑 淳	180,000	76,620	27,360					103,980	76,020
花 岡 有 一	180,000	187,020	19,440					206,460	0
中 村 弘 美	180,000	167,330	7,000	19,350				193,680	0
畠 沢 一 郎	180,000		27,000					27,000	153,000
伊 藤 毅	180,000	76,620	13,480	144,382		12,000		246,482	0
藤 原 明	180,000	76,620						76,620	103,380
千 葉 倉 男	180,000	76,620						76,620	103,380
佐 藤 久 勝	180,000	76,620		177,848	65,400			319,868	0
仲 沢 誠 也	180,000							0	180,000
虻 川 久 崇	180,000	76,620	50,628				656	127,904	52,096
石 田 雅 男	180,000	168,380	1,200					169,580	10,420
藤 原 美佐保	180,000	76,620	35,180					111,800	68,200
斉 藤 則 幸	180,000		9,022	142,560				151,582	28,418
明 石 宏 康	180,000			250,560				250,560	0
佐 藤 芳 忠	180,000		4,056	154,843			10,800	169,699	10,301
吉 原 正	180,000		48,960	139,968				188,928	0
佐々木 公 司	180,000	50,195	97,789	30,862				178,846	1,154
佐 藤 健 一	180,000		24,170					24,170	155,830
田 中 耕太郎	180,000		45,360	81,000				126,360	53,640
富 樫 孝	180,000	119,790	21,600	108,000				249,390	0
田 村 齊	180,000	119,790	27,540					147,330	32,670
菅 大 輔	180,000	119,790	6,480	63,810				190,080	0
笹 島 愛 子	180,000	4,990	37,972	94,650	39,340			176,952	3,048
相 馬 エミ子	180,000	119,790		85,245				205,035	0
高 橋 松 治	180,000		8,028	148,934				156,962	23,038
合 計	5,040,000	1,850,776	630,425	1,777,702		12,000	20,976	4,396,619	1,086,105

※支出合計が180,000円を超えた分は、議員が自己負担しています。

議会報告会のお知らせ

市議会での審査内容や結果などを市民の皆様へ報告するため、市内4会場で議会報告会を開催いたします。各会場には議長、副議長、常任委員長をはじめとする議員が出席しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

会場 比内公民館2階

第9研修室

日時 平成27年11月10日

(火曜日)

午後2時～

午後4時

会場 中央公民館2階

視聴覚ホール

日時 平成27年11月9日

(月曜日)

午後2時～

午後4時

会場 田代公民館2階

集会室

日時 平成27年11月11日

(水曜日)

午後2時～

午後4時

会場 北地区コミュニティ

センター1階

日時 平成27年11月12日

(木曜日)

午後2時～

午後4時

私もひとごと

第24回

この「コーナーではみなさんからの「なまの声」を募集しています。お気軽にご投稿下さい。

「よりあい たつこ森」デイサービス管理者

田^た中^{なか}伸^{のぶ}夫^おさん
(比内町扇田)



「認知症介護と
マイノートのすすめ」

比内町で認知症の方々のデイサービス「よりあいたつこ森」を7年前につくり、3年前から管理者をしています。

施設は、住宅街の一角にあり民家を利用して運営しています。認知症の方は馴染みの環境だと安心していられるので、普通の民家でデイをしています。この取り組みを知ったのは、30年前のこと。まだ「痴呆」と呼ばれていた時代に、当時、テレビディレクターとして取材したのがきっかけでした。認知症になっ

ても最期までその人らしさや感情を持ち合わせ生きる姿や介護スタッフの寄り添う姿に感動したのでした。いつか自分でもやってみたい想いを抱き、妻の実家の比内町扇田で実現したのでした。

認知症の専門医によれば認知症の7割がアルツハイマー型で、現在治す薬はないのが現状です。

一方で、徘徊や暴力といった問題は『適切な対応の仕方』で根治することが出来ます。適切な対応のポイントとは、その人の生活歴の中にあります。どんな人生を送り、何を大事にされ生きてこられたのか？何がお気に入り、何が嫌いなのか？そうした情報を基に行動を分析・理解し働きかけをするのです。

その前提になるのは、個々人の生活歴や価値観といった個人情報への確保です。ご本人はどんな性格なのか等そうした情報を介護スタッフが入手できれば、

ご本人に合わせた介護ができるのです。ところがそうした情報は同居のご家族も余りご存じないのが実態です。誰が知っているのか？それはご本人自身です。いま、「マイノート」という

取り組みが関東・関西で進んでいます。死後のことを託す「エンディングノート」に対して「マイノート」は、長い介護の時期を自分らしく生きるために、自分とはどんな人なのかを他人に伝えるために書き残すノートです。もし「マイノート」があれば、介護スタッフはノートに基づいて介護することが出来ます。真の意味で、ご本人に寄り添った介護が実現できることになります。都内のある市では、マイノートを全世帯に無料で配布しているところも出てきているといえます。どうしたら自分らしく介護時期を過ごすことができるのか？「地域包括ケア」が提唱され、医療と介護の連携を中心に据えた地域づくりが目指されていますが、その基本は住民一人一人の意思をいかに実現できるか。自立支援にかかっています。

12月15日(火)午後1時から比内公民館にて「健康教室 たつこ森」の中で「マイノート」を紹介します。是非ご参加下さい。

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側(裁判所側)3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎43-7108 (直通)

編集後記

周囲の山々が色づき始めるころ、大館は豊穡の秋を迎える。昨年は過去最低の米価で農家から笑顔が消えた。農村の豊かさは地域の宝である。今定例会は、26年度決算の審査もあり、1カ月余りの期間となった。終わった事業や施策が市民にとって有益であったかを検証する決算審査、監査委員とは一味違う28人の議員の視点から見えたものはなにか。審査の中で指摘された事項を、当局は真摯に受けとめ、改善を願う。

市民と議会をつなぐ議会報。市民目線からの要望、提言を歓迎。

(古原 正 記)